

214 早稲

認知症自分がなったら

「家族に負担心配」73%

内閣府調査

内閣府が発表した「認知症に関する世論調査」で、自分が認知症になったら「家族に負担をかける」と思う人は73・5%に上ることが分かった。家族が認知症になった場合は、65・1

%が「(自身の)精神的負担が大きい」と回答しており、生活への不安を感じている実態が浮かんできた。調査は昨年十二月、全国の十八歳以上の三千人を対象に個別で面接し、千六百

三十二人から回答を得た。自身が認知症になった場合の不安を複数回答で尋ねたところ、多い順に「家族に身体的・精神的負担をかける」73・5%、「家族以外の周りの人に迷惑をかける」61・9%、「家族や大切な思い出を忘れてしまう」57・0%、「買い物や料理、車の運転などができなくなる」56・4%だった。

家族が認知症になった場合(複数回答)では、自身の精神的負担の他に「家族以外の周りの人に迷惑をかける」58・3%や「経済的負担が大きい」49・7%が目立った。厚生労働省の担当者は「認知症の人が使える介護保険サービスがある。家族で不安を抱え込まないで」と呼び掛けている。